

乳房再建をお考えの患者様へ

大森赤十字病院 形成外科

乳房再建とは？

・乳房再建とは乳癌手術で失った乳房を作り直す手術です。乳房は女性にとって大切な臓器のひとつであり、乳房のふくらみを失うことで精神的に辛い思いをする患者様は少なくありません。われわれ形成外科医は、乳房再建手術を通じて、乳房の喪失感を和らげ患者様の QOL（Quality of Life）向上の一助となることを目的とし、乳腺科と連携しながら診療を行っております。

・乳房再建手術はこれから乳癌手術を受ける患者様、過去に乳癌手術を受け乳房の変形や喪失をきたしている患者様が対象になります。再建する理由は「女性らしくありたい」「服や衣装を綺麗に着たい」「温泉に行きたい」など様々です。

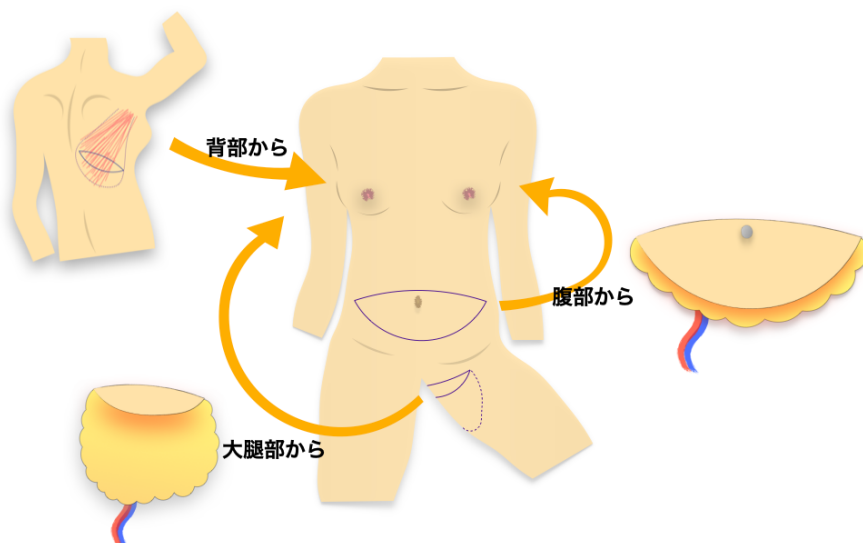
・乳房再建を考えると、**何で再建するか（再建の方法）・いつ再建をするか（再建の時期）**の2点がとても大切です。

再建の方法

再建の方法は以下の方法があります。患者様のライフスタイルや考え方、乳房の形態、乳癌治療など、様々なことを考慮して再建方法を相談していきます。

① 自家組織再建（自分のお肉を使った再建）（保険診療）

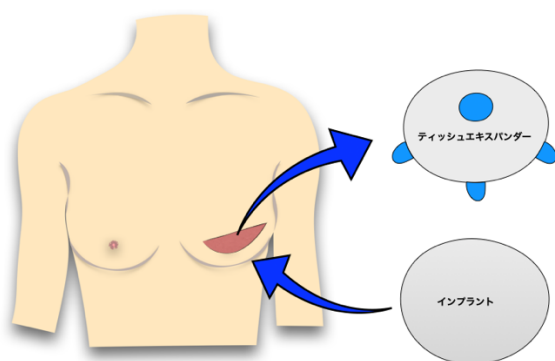
腹部・背部・大腿部から血管付きの脂肪（皮弁）を採取して、胸に移植するという手術です。自然でやわらかい乳房が作りやすいのが特徴です。どの部位から持ってくるかは、患者様それぞれの脂肪の付き方や乳房の形を考慮します。



② インプラント再建（人工の乳房を使った再建）（保険診療）

インプラントを用いて乳房のふくらみを作る手術です。乳房の形によっては向き不向きがありますが、もともとの乳房の形に近づけられるように適切なインプラントを選定して挿入します。

被膜拘縮（インプラント周囲にできる被膜が分厚くなり、疼痛や変形を引き起こす）やBIA-ALCL（乳房インプラント関連未分化大細胞型リンパ腫）といったインプラントに特徴的な合併症もあります。



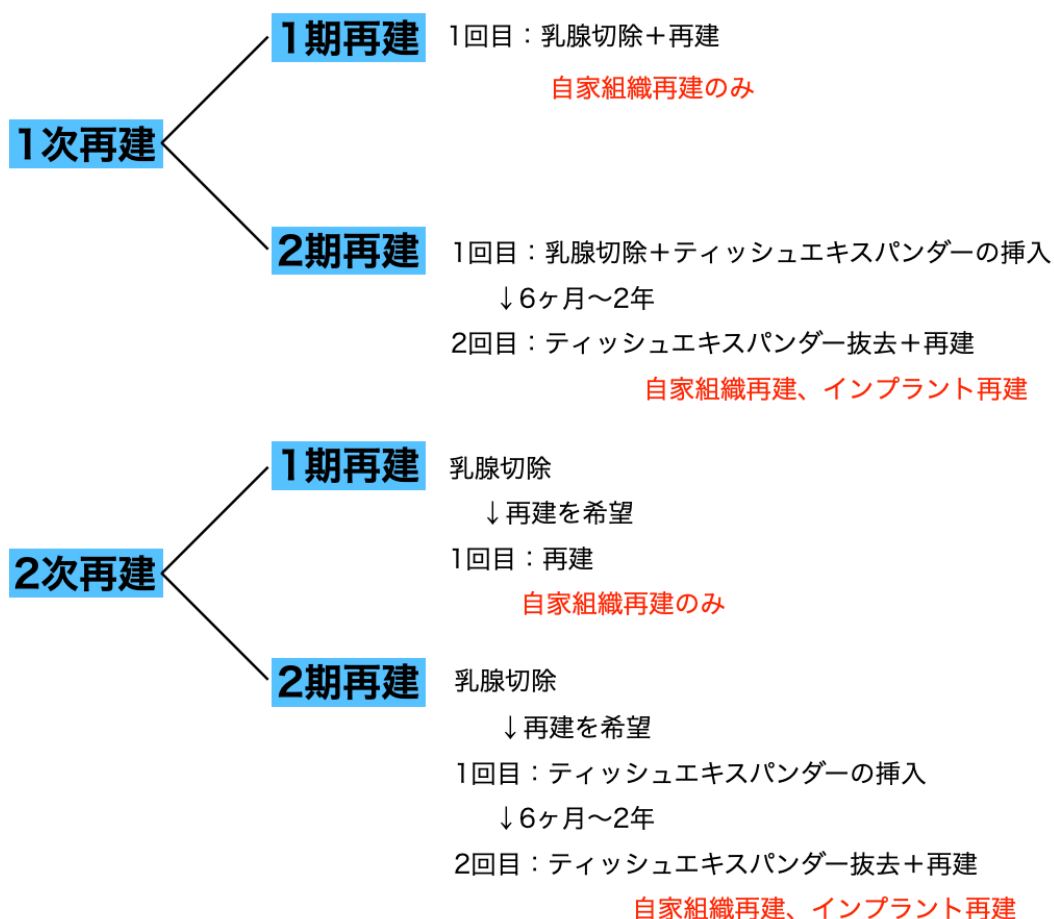
③ 脂肪注入（自費診療）

腹部・腰部・大腿部など脂肪の多いところから脂肪を吸引して、胸に注入するという手術です。自費診療であり当院では行っておりません。

	自家組織再建	インプラント再建
長所	・異物反応がない ・あたたかくて柔らかい自然な乳房が作りやすい ・長期的なフォローが必要ない ・体重変化で大きさの変化がある ・加齢と共に健側に似たように下垂してくる	・手術時間が短い（1～2時間） ・入院期間が短い（5～7日間） ・そのため体の負担が少なく体力の低下が少ない ・他の部位に傷がつかない
短所	・組織を採取したところに大きな傷ができる ・血管のトラブルが起こる可能性がある ・手術時間が長い（5～10時間） ・入院期間が長い（7～14日間） ・そのため体の負担が大きく体力の回復に時間がかかる	・異物反応がある ・乳房の形によっては再現が難しい ・体重変化や加齢による下垂で左右差が目立ってくる ・寝た時に左右差が目立つ ・定期的に通院し診察や検査が必要 ・入れ替えが必要になることがある

再建の時期

乳腺切除と同時に再建を行う 1 次再建、乳腺切除後しばらくしてから再建を行う 2 次再建があります。再建の時期に関しては乳癌の治療スケジュールや患者様の希望などを考慮して決めていきます。また、再建の時期によって選択できる再建方法も変わります。



最後に

ご自身に合った納得のいく乳房再建と一緒に考えていきましょう。
ご不安なことやご不明点など何かございましたら、ご質問ください。